

北海道農業共済組合の 家畜診療所の概要

北海道農業共済組合
(NOSAI北海道)

NOSAIとは？

- ・わが国は農業災害対策の柱として、農業保険法を設けています。
- ・農家が掛金(国が掛金の一部を補助)を出し合って財産を形成し、被害発生時に共済金を支払う政策保険です。
- ・共済制度を運営している団体が農業共済組合(NOSAI)です

農業保険法



掛金等を出し合う



掛金等の一部を補助



家畜共済

畑作物共済

農作物共済

災害等

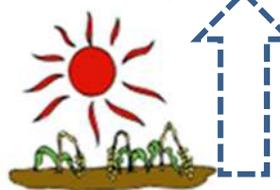
園芸施設共済

果樹共済

収入保険



共済金等の支払い



NOSA Iの使命

NOSA Iは、不慮の災害、価格暴落等のリスクから**日本農業を守るため**農業共済制度と収入保険制度を運営しています。

この公的な役割のため、NOSA Iの運営費の一部が国より補助されているほか、甚大な被害発生時に国が下支え（保険）するため、**大災害が起きても安心の体制**です。

家畜共済とは？

家畜共済は「牛・馬・豚」を保険の対象としています。家畜が病気で廃用になったときや、予期しない事故で死亡してしまったときに、農家さんに共済金を支払います。病気になって、**獣医師が診療**をした場合は、その診療費を保険で補償しています。

家畜が死亡or廃用
(家畜を事故で失った場合)

↓
家畜の損失を保険で補償



病気・怪我の家畜を**獣医師**が治療

↓
診療費を保険で補償



家畜診療所とは？

診療所の主な業務

1. 家畜の診療、人工授精、受精卵移植
2. 損害防止
3. 家畜共済の引受・損害認定に係る業務
4. 家畜共済の普及及び加入の推進
5. 公共団体の防疫事業など畜産諸施策に
対する協力

北海道を支えるNOSAI獣医師



北海道には、乳牛83万頭、肉牛54万頭、豚72万頭、馬3万頭が飼養されており、**酪農・畜産業において北海道は国内最大の生産地**です。特に**国内の乳牛の半数は北海道**で飼養されています。

酪農・畜産農家の多くがNOSAI制度に加入し、NOSAI家畜診療所を利用しています。

全国で働く産業動物臨床獣医師の
2割以上が北海道で診療しています！



NOSAI獣医師 北海道 803名

(令和4年5月1日 時点)

全国の産業動物臨床獣医師

(個人診療施設を含む)

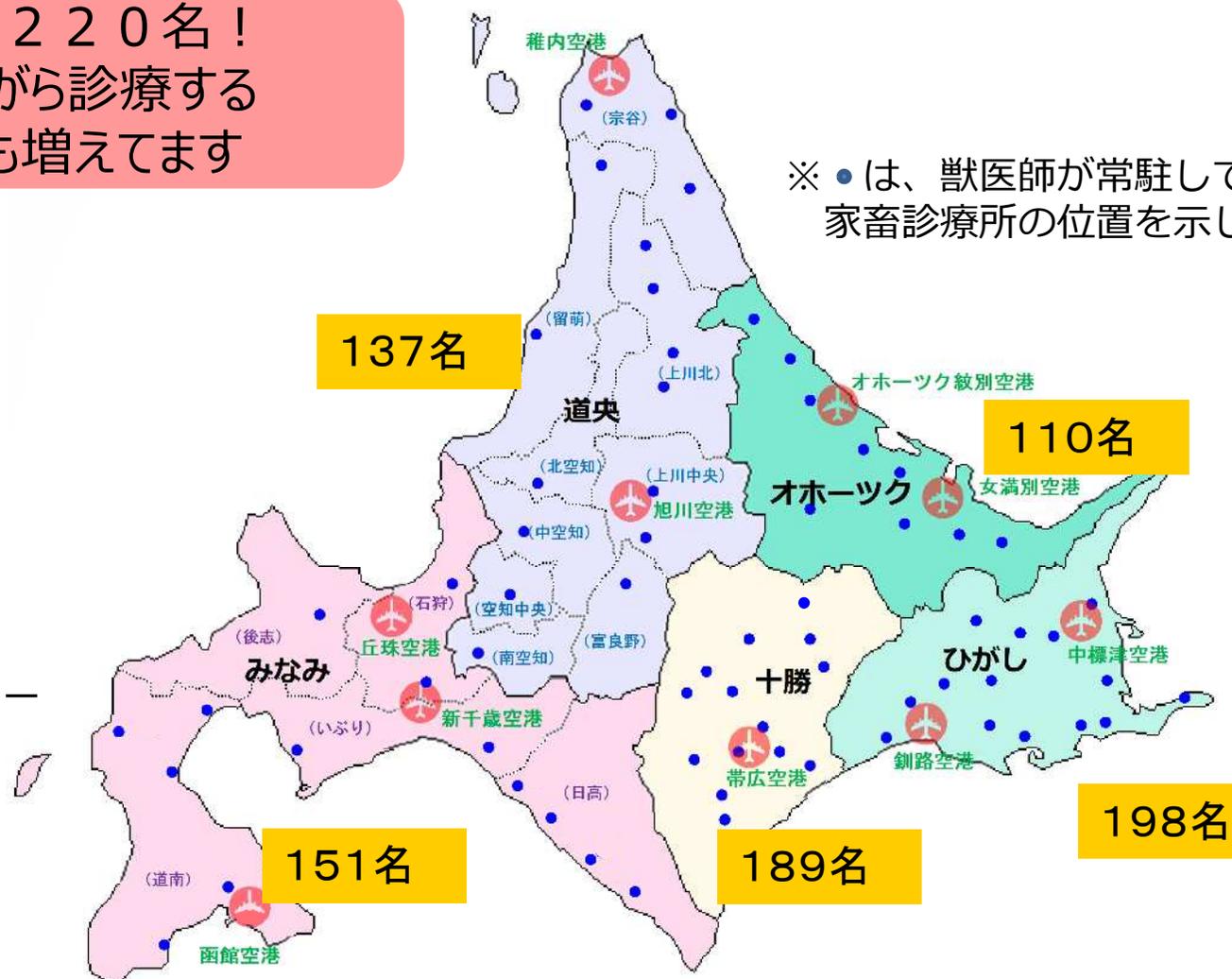
3,844名

(令和2年12月31日 獣医師法第22条の届出状況より抜粋)

北海道では5統括センター、約70か所のN O S A I
診療所があり、約800名の獣医師が
北海道の酪農畜産業を支えています。

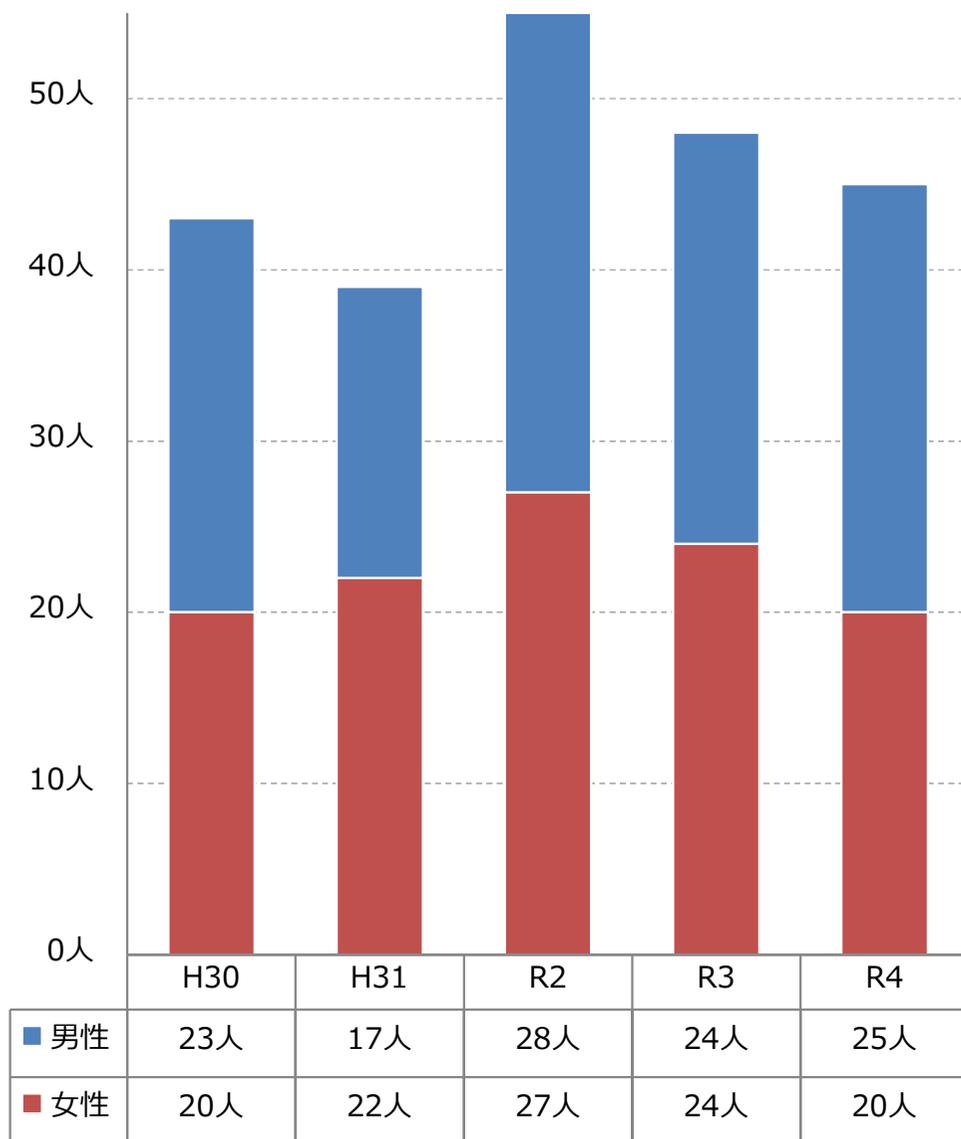
女性獣医師は220名！
子供を育てながら診療する
女性獣医師も増えてます

- ◇みなみ統括センター
- ◇道央統括センター
- ◇十勝統括センター
- ◇ひがし統括センター
- ◇オホーツク統括センター

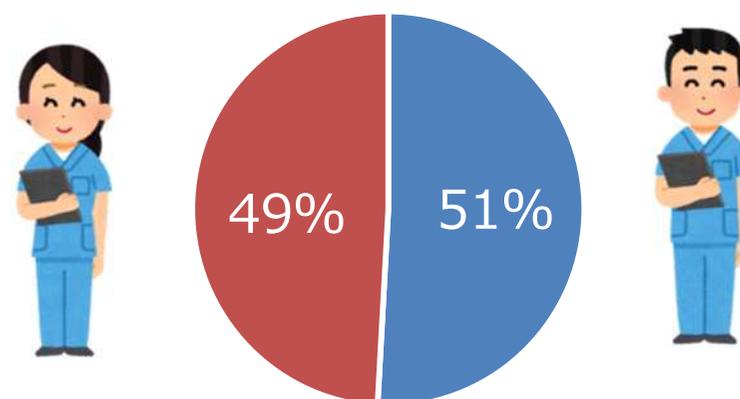


(令和4年5月1日時点)

北海道のNOSAI獣医師採用人数



過去5年間の男女比



女性獣医師も活躍しています！
公務員に準じた産休・育休制度
があり、毎年10人前後の方が産
休・育休を取得しています！

北海道の
良いところ
は？



豊富な症例

北海道(乳牛83万頭)はデンマーク国に匹敵

北海道の年間カルテ80万件(診療費100億円)は電子化されており、その膨大な情報は
学術研究にも応用



令和2年度 延診療回数

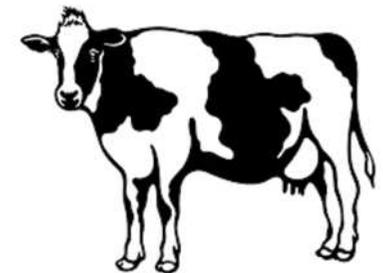
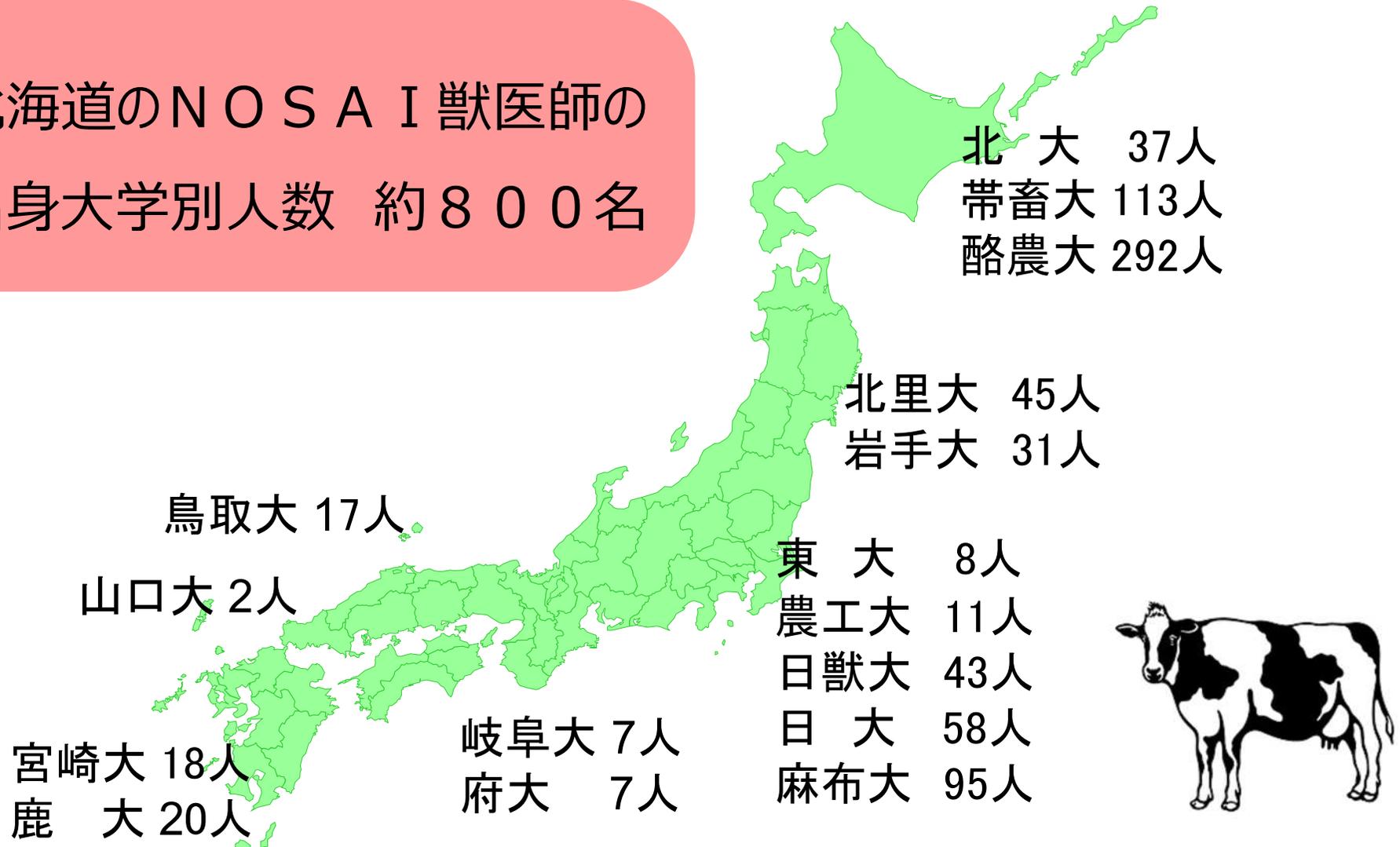
(単位はすべて件)

畜種	みなみ		道央		十勝		ひがし		オホーツク	
	診療回数	1日平均	診療回数	1日平均	診療回数	1日平均	診療回数	1日平均	診療回数	1日平均
乳用牛	144,806	397	268,379	735	459,060	1,258	633,317	1,735	287,434	787
肉用牛	130,569	358	41,893	115	78,999	216	49,285	135	56,188	154
一般馬	47,481	130	1,146	3	2,317	6	2,622	7	569	2
種豚	30	0	3	0	26	0	0	0	360	1
種畜	163	0	69	0	107	0	110	0	29	0
合計	323,049	885	311,490	853	540,509	1,481	685,334	1,878	344,580	944

(令和2年度実績)

同期（仲間）がたくさんできます！

北海道のNOSA I 獣医師の
出身大学別人数 約800名



(令和3年4月1日時点)

就職後の研修も充実しています！

1年目

- 組合新規採用職員研修会（組織人研修）
- 新規獣医師臨床研修（診療の技術研修）
- 就職先の診療所では往診随行など

3年目

- 仕事での疑問の解消

馬臨床技術向上研修

獣医師専門技術研修

家畜診療所に行って・見て・触って・感じる



家畜診療業務体験研修は、
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
北海道の全統括センターで中止していましたが
令和4年7月より再開します！
皆様、ご応募お待ちしております。

業務体験研修

業務体験研修は・・・

産業動物臨床を担う獣医師を確保するため、**NOSA I 家畜診療所で診療業務を体験**していただきます。

産業動物臨床に必要とされる実践的な知識・技能を研修し、家畜共済事業の役割や**NOSA I 家畜診療所の業務**などへの理解を深めていただきます。

業務体験研修

対象学生・研修期間

- ・ 獣医系大学の教育課程1～6年生、大学院生
- ・ NOSAI北海道へ就職を検討している学生
- ・ 実習期間は、月～金曜日の1クール又は2クール

POINT!

臨床経験がなくても大歓迎です

3日程度の短期間でも大丈夫です

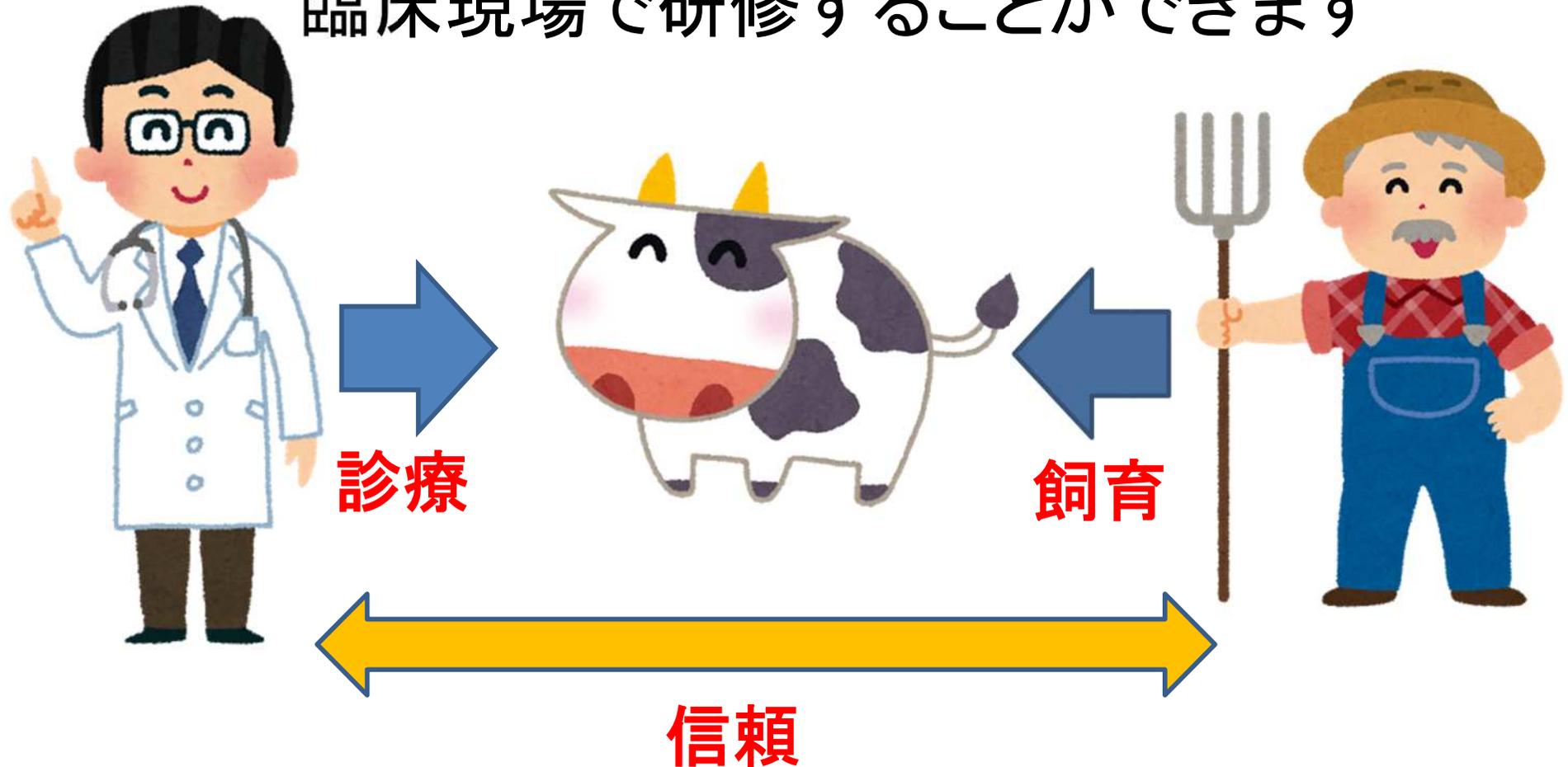
交通費、宿泊費、食費

の助成があります



業務体験研修

臨床現場で研修することができます



動物を治すのは畜主との二人三脚。お互いの信頼が大切！
そのためにインフォームドコンセントが重要！！

現場での診療業務等紹介

各統括センターの現場での診療業務や地域の特色などは、ホームページで紹介しています！

産業動物臨床に興味のある学生は、ぜひご覧ください。

